（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	おれんじはつくら

公表日　2026年　5月　1日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3		スペースは適切です	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	3		職員配置数は適切です	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3		歩ける利用者様は靴箱から自身のロッカーまでの動線はわかりやすくなっています。 車椅子の利用者様が多いのでバリアフリーです。	外の舗装に凹凸がみられるところが一部あるので補修していきたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3		清掃、消毒は毎日行い、横になって過ごす利用者様にはマットを引いた上に布団を敷き清潔を確保しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3		活動に応じて、動きの違う利用者様へ配慮しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3		定期的な会議を開催しています。また、その時々で話し合い柔軟な対応ができるようにしています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		保護者向け評価表は職員全員が見て把握しています。意見を参考に話し合い、必要な事柄は早めに対応しています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		事業所内会議以外にも、気になったこと、困ったことなどの意見交換は頻繁に行い、共有の認識として業務改善に繋げています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		3		現時点では第三者評価を実施していません。重要事項説明書にその旨記載しています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3		外部研修に積極的に参加したり、事業所内で研修を設けています。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3		事業所の支援5領域を作成し、個別支援計画に表記、ホームページでも公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3		現場職員と管理者とそれぞれの意見を取り入れ、保護者様との話なども参考に、放課後等デイサービス計画を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		行われています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	3		行われています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3		法人内で標準化されたアセスメントとシートに加え個々の体調等に合わせられるよう項目を追加しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3		行われています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3		職員同士でアイデアを出し、個々に合わせたものの制作や外出計画などを立てています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	2	1		固定化しないように努力はしていますが、利用者様の体調に十分な配慮が必要なため難しいことがあります。

提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3		個別活動は特性に合わせて作成しています。集団活動は職員を介して同じ空間を感じてもらえるような空間作りを心掛けています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3		連絡事項や重要事項は必ず共有できるようにしています。連絡ノートの内容等も情報共有できるようにしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	3		当日あったことに関しては事務所内で話し合い、問題がある時には、報告を含め早期解決できるようにしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3		1か月ごとにモニタリングを行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3		行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	2	1		利用者様の特性に合わせ、創作活動、生活動作、余暇の提供はできていますが、地域交流の機会は体調面を考慮するべき利用者様もあり難しいです。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3		制作で色選びやおやつの選択など自己決定できる場面を増やしています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3		事前に他の職員への聞き取りや対応を確認し、児童発達支援管理責任者が出席しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3		概ねできています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3		行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3		相談支援専門員を介してお話を伺ったり、必要があれば直接伺って情報をもらっています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2		同じ法人の生活介護事業所、就労支援B型を利用している方の情報は提供しています。	他法人の事業所へは情報提供していないので必要があれば情報地経していきたいと思います。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。		3		必要があれば連携していきたいと思っています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		3		接点がないため、交流を設定していません。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3		島田市の放課後等デイサービス連絡会へ参加しています。また島田市の重度心身障害者部会にも参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3		行えています。必要な情報はメールでこまめにやり取りを行っています。送迎時に情報をやり取りすることもあります。日々の連絡は連絡ノートを活用しています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	1	保護者様の気持ちに寄り添い、一緒に解決に向かえるよう助言等を行っています。	保護者が参加できる研修等を企画していきたいと思っています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3		行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3		行っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	3		得ています。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3		面談や送迎時などに、利用者様のお話を伺っている中で、不安や心配事などの言葉や様子が見られる時には、言葉をかけ必要があれば支援を行っています。 事業所だけでは解決できないこと等は保護者に了解を得てから相談支援事業所等にも連絡させていただいています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		3	当事業所に保護者会がありませんが、同法人内の放課後等デイサービスと合同で勉強会を行ったことがあります。	きょうだい同士での交流は課題としてあがっていないので交流の機会は設けていません。今後必要があれば考えていきたいと思っています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3		苦情についての案内は契約時に説明しています。事業所内に苦情受付の案内を掲示しており、法人の苦情解決に関する規定にのっとって迅速に対応します。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3		月に一度広報誌を発刊して、活動や行事等お知らせしています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		利用者様には契約時個人情報の開示についてアンケートをお願いしており、職員は雇用時退職時に契約書を提出してもらっています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3		個々に合わせた、適した方法で伝達を行っていますが、意思疎通の難しい利用者様には、ご家族を通して意思の確認をすることもあります。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		3		当事業所では地域に開かれた行事を行っていません。地域の方に周知していただくための行事については必要があれば検討していきたいと思っています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	1	災害伝言ダイヤルの訓練を行いました。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3		年間2回実施しています。放課後等デイサービスの特性上、訓練時通所児童のみになってしまいます。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3		薬剤情報はまとめた資料としてファイルしてあるので、いつでもすぐに見られる状態です。緊急時を考慮し送迎車にも乗せています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	1	2		アレルギー検査の結果を提出して頂き対応しています。給食の提供がない為、指示書をいただくか検討しています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3		緊急時対応マニュアルに基づき、行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	3		当事業所の特性を踏まえ、ご家族との情報共有のもと、リスクに配慮した安全管理を行っています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3		行っています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3		やむを得ず身体拘束等を行わなければならない利用者様については、リスク対応表にて保護者様の説明承諾を得ています。	